

JA だより みづま

2025
12月号
No.500

三潞町農業協同組合

おかげさまで

500号

JAみづまのホームページはこちら



「JAだより みづま」のあゆみ

組合員皆様のあたたかいご支援のおかげで、JAみづま広報誌「JAだより みづま」は創刊500号を迎えました。今回は、創刊当初よりどのような内容で皆様に情報をお届けしていたのか振り返ります。



創刊号～昭和60年1月号(51号)

当JAの広報誌が創刊されたのは昭和54年、日本の農業は大きな転換期を迎えていました。特に米の生産過剰が深刻化し、「減反政策(生産調整)」が本格化。転作作物としてハトムギ栽培が始まったのもこの頃です。

また、当JAの本所(農協会館)が落成し、昭和58年9月には貯金のオンライン処理がスタート。なんと当時の定期貯金(1年)の金利は6%超と記載されていました。

昭和60年5月号(52号)～昭和62年4月号(67号)

表紙のロゴを全体的に円形にデザイン変え、みづまの「づ」の濁点には実を結ぶ願いを込めているとのこと。それに伴い、「さわやか娘」として組合員の娘さんが毎月表紙を飾っていました。

「ビニール袋で鉢植え栽培」「傘の手入れ」「コップの汚れの落とし方」などの生活の知恵や婦人部研修会で作ったメニューを紹介していました。



昭和62年6月号(68号)～平成4年3月号(104号)

「全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣賞を受賞で日本一」という嬉しい記事や、平成元年5月に三渚生活購買店がオープン、平成3年5月に同時期に工事を進めていた西牟田支所・犬塚生活購買店・農産物加工工場が完成したとの内容も。一方で当時問題になりつつあった「輸入食品の安全性」「食品添加物の現状」をもとに「Aコープマーク品の考え方」と食の安全について記載されていました。

なお、平成3年の11月号に発行100号を迎えています。



平成4年4月号(105号)～平成6年9月号(134号)

平成4年4月より農業協同組合の愛称を「JA」としたことに伴い、タイトルを「のうきょうだより みづま」から「JAだより みづま」へ、また、表紙の右上のロゴが『MIZUMA NŌKYŌ』から『JA MIZUMA』に代わりました。また、現在も不動の人気を誇っているはとむぎ茶(ティーバッグ)を本格的に売り出したのはこの頃でした。

平成5年は米凶作だったため、平成6年3月初旬には店頭から国産米が消え始める「平成のコメ騒動」と言われる時期でした。

平成6年10月号(135号)～平成10年3月号(176号)

表紙の見出しも若干変わり、地域のちびっこ達が表紙を飾りました。

世間ではバブルが崩壊し、ガットウルグアイ・ラウンド合意による農産物総自由化、米の流通が政府全量管理から部分管理へと移行する新食糧法へ移行したのはこの頃でした。



今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ

2



山羊座【全体運】勢いのある好調運。ただ、ままならない思いをしている人もいるので配慮を忘れずに。リーダーシップが光ります
3/21
【健康運】後半は後退。油断せず健康習慣をキープして◎
4/19
【幸運の食べ物】ミカン



牡牛座【全体運】上昇運。しっくりいかなかったことも次第に整ってきます。周囲との和を大切に、流れに乗って。忘年会にツキ
4/20
【健康運】体にいいことを続けて。手応えを感じられるはず
5/20
【幸運の食べ物】アンコウ

平成10年4月号(177号)～平成16年8月号(251号)

広報誌のサイズがB5サイズから今のA4サイズに変わり、平成11年5月からは2色刷になりました。営農面では、いちごに次ぐ特産物としてイチジクの出荷が始まったのがこの頃。また、本所会館・各支所の改修工事が行われ、給油所のマークが全国共通のJA-SSマークに変更されました。心豊かな地域社会づくりを目指す助け合い組織「元気クラブ」が発足して、ミニデイサービスを行う「ふれあい広場」が開催されたのもこの時期。「コンピューター2000年問題」や「家電リサイクル法」の言葉が巷に溢れた時期でもありました。



平成16年9月号(252号)～平成22年3月号(318号)

見出しがGreen Showと一新。この頃にJAくるめのやすらぎ葬祭事業の取扱やペットボトルの「くるめ ほとめき茶」の販売を開始しました。

また、統廃合前の三支所が三潴・大城・山門地区のJAを対象とした店舗美化コンクールに参加し、41支所(店)中、三潴支所第1位、西牟田支所第2位、犬塚支所第7位という快挙を遂げています。

平成22年4月号(319号)～平成26年10月号(369号)

再び見出しが「JAだより みづま」に戻りました。

口蹄疫の発生、TPP交渉参加反対緊急集会、戸別所得補償制度の開始など農政面で大きな動きがありました。平成24年7月には九州北部豪雨に見舞われ、管内でも被害が多発。また、平成25年4月30日には、西牟田支所・三潴支所・犬塚支所を廃止し、本所を統合店舗として構築、7月には犬塚購買店をリニューアルしました。



平成26年11月号(370号)～現在

表紙がフルカラーになりました!

平成28年9月30日に壱町原給油所を閉店、組合員アンケートの実施や、レンタル機使用のタマネギ播種・定植の開始、自己改革の具体的取組みについて掲載しました。相続税の基礎控除引き下げ(平成27年1月1日)、マイナンバーカード交付開始(平成28年1月～)は、つい最近のことと思っていましたが、約10年も前のことだったんですね。



いかがでしたか?

昭和時代に掲載されていた年端もいかない子供や、平成時代に絵画で賞を受けた児童が現在職員として働いていたり、貯金金利が今では考えられない利率だったりと驚くことが多々あり、時間を忘れて読みふけてしまいました。

これからも地域の皆様に寄り添い、役立つ情報をお届けできるよう努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ



双子座【全体運】ドキッすることがあるかも。外出するときは救急セットや折り畳み傘を携帯して安心。靴は歩きやすいものに
5/21【健康運】無理をしたと感じたら休んで。臨機応変に
6/21【幸運の食べ物】カリフラワー



蟹座【全体運】大掃除は早めにスタート。余裕を持って予定を立てるとうまくいきます。いつものお店や集まりに幸せの予感
6/22【健康運】疲れたら早めにケアを。危険な場所は避けて
7/22【幸運の食べ物】ダイコン



黄金色の田んぼから、収穫スタート! ～実りの秋、米の収穫始まる～

2 収穫もどけに



10月1日より、当JA管内の圃場で米の収穫が始まりました。黄金色に染まった稲穂が風に揺れ、コンバインが軽快に走る様子は、秋の風物詩です。

今年は天候にも恵まれ、品質・収量ともに良好。収穫された米はカントリーエレベーターで乾燥・調整を経て出荷され、食卓に新米が届くのも間近です。



実りの秋を感じて稲刈りに挑戦 ～児童が“食”の大切さを田んぼで学ぶ～

2 収穫もどけに



青壮年部は、10/27・28・29に西牟田小学校、三瀬小学校、犬塚小学校5年生の児童を対象にもち米の稲刈り体験学習をしました。

児童らは鎌を手に、慣れないながらも一束ずつ丁寧に稲を刈り取りました。刈り取った稲はその場でコンバインに投入し、粉となったものを大型のフレコンバッグに詰める作業も体験。普段は見ることのない農業機械の動きに目を輝かせながら収穫の工程を学びました。

「稲を刈るのは力があるけれど楽しかった」「お米ができるまでにいろんな作業があることが分かった」などと児童たちは口々に感想を話していました。

収穫したもち米は、学校でおはぎ作りやもちつきに使われる予定です。児童らは、自分たちで収穫したもち米を味わう日を楽しみにしていました。



“お客さん目線”でチェック! ～購買店に小さな探検隊現る～

11 食の大切さを学ぶ



「一番人気の品物は?」「おすすめ品は?」など矢継ぎ早に可愛らしい声が響いた10月22日、犬塚小学校の2年生の児童12人が生活科の授業の一環として犬塚購買店を訪れました。地域の商業施設を実際に見学することで、自分たちが住んでいる町に親しみや愛着をもって生活することを目的とするためとのこと。児童たちは店内にどのような商品が販売されているのか、また、人気商品や地域の特産物からできたはとむぎ茶やハトムギ入りの味噌などに興味津々で、目を輝かせて職員にたくさんの質問をしていました。

最後は「ありがとうございました!」と児童らから元気にお礼を伝えられ、職員も笑顔で応えていました。



旬の食材で美味しい3品 ～元気クラブで広がる、食の楽しみ～

4 食の楽しみを広げる



10月28日、元気クラブ料理教室を開催しました。今回のメニューは秋の味覚を楽しむ「冬瓜のそぼろ煮」「サツマイモの天ぷら」「まぜご飯」の3品。どれも親しまれている食材を使った、家庭で役立つレシピです。

レシピは立石由紀子会長と富安百合子副会長の考案。参加した会員13名は各々安定の手際の良さで調理をすすめ、短時間で見事に仕上げました。「冬瓜のそぼろ煮」は優しい味わいで体に優しく、「サツマイモの天ぷら」はほくほくと甘みが広がり、「まぜご飯」は人参・ごぼう・しいたけ・油揚げなど食欲をそそる彩りに。今回も笑顔と美味しさがあふれる充実した時間が流れていました。



今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ

4



獅子座【全体運】おしゃれをして外出を。特別なことをすると勢いにつき目標達成に近づけます。会合などの世話を引き受けて
7/23
8/22【健康運】ゆったりした散歩がお勧め。軽い運動で好循環
【幸運の食べ物】ユズ



乙女座【全体運】気が多くなりがちなので欲張り過ぎないように。用事はリストアップし優先順位を整理。後半は助けてくれる人あり
8/23
9/22【健康運】香りの良い入浴剤で、ゆったりとバスタイムを
【幸運の食べ物】野沢菜

地域の魅力が満載 ～みづま祭で地域の農業と食の魅力を発信～

11 日本酒の魅力を
発信しよう

11/1～2、水沼の里2000年記念の森で『第38回久留米市ふるさとみづま祭』が開催されました。初日は天候が心配されたものの、昼頃から晴れ間が広がり、2日目も快晴に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。

青壮年部は例年好評のジューシーな唐揚げを提供し、農産課は今年収穫されたばかりの新米のすくい取りを実施。みづまの光グループは土曜日のみ手作りおこわを販売、女性部は例年と趣向を変えてふっくらとしたパンにソーセージが挟まれたホットドッグを提供し、子供から大人まで大好評でした。農産物直売所と青空市場では新鮮な野菜や果物をずらりと並べ、旬の味覚を求める買い物客で活気にあふれていました。



「入賞は逃しても、笑顔はホールインワン!」～親善大会に4名の代表が挑戦～

11 日本酒の魅力を
発信しよう

10月7日の「JAみづま年金友の会グラウンド・ゴルフ大会」で上位入賞した4名は、11月5日に開催された「JAバンク福岡年金友の会グラウンド・ゴルフ親善大会」に出場しました。会場の筑後川河川公園では、ナイスショットあり、笑いあいの熱戦が繰り広げられました。

惜しくも入賞は逃したものの、参加した友の会会員4名は「めったに参加できない大会に出られていい記念になった」などと破顔一笑。スコア以上に心に残る一日となったようです。



麦播種前研修会開催 ～地域の麦づくりを支える知恵と技術が集結～

4 麦の魅力を
発信しよう

11月7日、農産課は本所3階大研修室で令和8年産の麦類播種前研修会を開催しました。会場には講師の話に傾きながらメモを取る人など、真剣な表情が並びました。令和8年度も「安全安心・良質な麦を安定して届ける」ために、普及指導センターの谷口氏からは栽培のポイントや排水対策、土づくり、病害虫対策など現場に即した内容が語られました。

研修会の締めくくりには、令和7年産麦において、反収及びたんぱく含有率上位生産者表彰が行われました。なお、表彰者は次のとおりです。(敬称略)

小麦部門：原武 郁雄
大麦部門：室岡 豊
裸麦部門：西田 泰治
タバコ含有部門：深堀 春樹



いちごの振興と地域農業への尽力に感謝を込めて ～地域農業の功労者を表彰～

9 麦の魅力を
発信しよう

11/8～9に開催された第51回ふるさとくるめ農業まつりにて、地域農業の発展に寄与された生産者4名が「農業功労者」として表彰され、当JAからは平尾義朗さんが受賞されました。

平尾さんは特産品であるイチゴの生産振興に長年取り組み、高い生産技術を有するだけでなく、後進の育成や地域の農業者との連携にも力を注いでこられました。また、当JAの理事としても活動され、地域農業の課題に向かい、持続可能な農業の在り方を模索し続けてきた方です。

表彰の基準は「地域農業の振興に関する指導的地位にあり、農業の発展に寄与したと認められること」。平尾さんはまさにその言葉どおり、地域の農業を支える柱としての役割を果たしてこられました。

式典では、平尾さんのこれまでの功績が紹介されるとともに、会場からは温かい拍手が送られました。



情報の提供は、JAみづま総務部まで

☎0942-64-2211



今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ



天秤座【全体運】交友関係の広がりラッキー要素を運んできます。人の話はよく聞いて熱心に情報収集を。学びの時間もつくて
9/23
【健康運】話題のストレッチやサブリを試してみ
10/23
【幸運の食べ物】カボチャ



蠍座【全体運】欲張りになりがち。たくさんのが手に入るときだからこそ、いらなものにはノーを。取捨選択を心がけて
10/24
【健康運】食事は彩りが大事。よくかんで食べましょう
11/22
【幸運の食べ物】ハクサイ



～サクッと学ぶ わたしたちのJA④～
今回はJAの生い立ちについて学んでみましょう

1. 協同組合の始まり

そもそも「協同組合」ができたのは資本主義社会になってからです。資本主義が進む中、各国の労働者は互いに協力していき、必然的に協同組合※1が生まれました。日本では、江戸時代末期※2の二人の思想家によって協同組合が誕生しました。一人目は勤勉と自助を説いた二宮尊徳(幼名:金次郎)。彼は、経済的に困っている人たちのために「五常講」※3という相互扶助や地域経済の発展を促進する信用組合のような仕組みを小田原藩(神奈川県)で発展させました。二人目は、農村指導者であり思想家である大原幽学。彼は、農民の生活向上を目指した「先祖株組合」※4を長部村(千葉県)で結成し、土地を出資してその収益で農民たちが助け合って生活できるようにしました。その結果、農民の生活は着実に向上し、互いに助け合うことで村の結束力が高まっていきました。

- ※1 19世紀の産業革命後、下層労働者の生活困窮が極まる中で、世界各地で同時期に多くの協同組合が誕生。しかし、労働生産協同組合は成功せず、そのほとんどが消滅した。
- ※2 天保期(1831年～1845年)の飢饉による食料不足と厳しい年貢の取り立てに疲弊した農民が土地を捨てて逃げ出し、農村が荒廃した。
- ※3 金次郎が大切にしていた道徳の根幹、儒教の教えに「五常」がある。五常とは、人間が大切にすべき5つで、仁(思いやり)、義(正しいと思うことをする)、礼(礼儀作法)、智(知ること、学ぶこと)、信(信じる心)のこと。つまり、この五常を守ることを条件とする道徳心を担保とした金融制度。なお、この「五常講」、1820年(文政2年)にできたので、世界最初の協同組合、信用組合とも言われている。
- ※4 1838年(天保9年)に組織したので、イギリスのロッチデール協同組合結成(1844年)に先行する、世界初の農業協同組合とされる。

2. 明治・大正・昭和時代

明治時代に入ってから日本で初めての協同組合である、生糸と茶の販売組合※5が作られました。1873年(明治6年)に始まった日本の税制改革である「地租改正」は、江戸時代まで続いた「年貢(米で納める税)」から「お金で納める税」に変わりました。その結果、政府の収入が安定し、日本の近代化が一気に進んだ半面、自作農農民の中には困窮する者が発生。農民の実情を見た明治政府は1900年(明治33年)に産業組合法※6を制定しました。なお、産業組合法制定後は協同組合が全国的に作られるようになったのです※7。

この協同組合設立に特に力を尽くしたのが品川弥次郎※8と平田東助※9です。1910年に産業組合中央会、その後、全国連合会が設立されるなど組織強化を進めていきます。1925年には産業協同組合中央会から組合員家庭向けの月刊雑誌「家の光」が創刊、その10年後には「中央産業組合新聞(現:日本農業新聞)」が発行されました。

- ※5 幕末の開港以来、生糸と茶が重要な貿易商品となり、明治に入ってから輸出高が目覚ましく伸びていったため、江戸期の信用組式的機能だけでなく、加工や販売という経済事業の分野にも新しい協同の営みが生まれた。
- ※6 現在の農業協同組合、信用金庫、信用協同組合、生活協同組合の母体となった。事業は信用事業・販売事業・購買事業・利用事業の4業種で、当初は信用事業と他の事業との兼営は認められていなかったが、1906年に産業組合法が改正され、兼営が可能となった。
- ※7 当初は信用事業を中心とする農村組合として組織されることが多く、構成員も裕福な地主・上層農民が中心となっていた。日露戦争後、疲弊する農村経済の維持・発展を目指す産業組合運動が盛んになり、全国に普及した。
- ※8 明治期に農村部の経済的困窮が深刻化していたため、信用組合制度の導入に注力。そのため、ドイツ留学中に会った「ライファイゼン型信用組合」に着目し、日本に導入すべく研究と制度化の努力を重ねた。
- ※9 明治政府の官僚として法制度の整備にあたり、ドイツの制度を取り入れた信用組合法の立案に尽力。この法案は不成立に終わったものの、今日の農業協同組合の礎となっている。

3. 戦時統制から戦後協同組合、そして貢献

1937年の日中戦争を境に、産業組合は国家の代表機関としての性格を強めていきます。1943年には産業組合と農会※10などの団体が統合されて農業会※11となりましたが、敗戦により1948年に解散させられました。

1945年に敗戦した日本は、GHQによる統治を受け、地主制度は農地改革により大きく変えられ、多くの農民は自作農となりました。この農地改革の成果を守る農民の経済組織として1947年の農業協同組合法の制定に基づき、農協は1948年から49年にかけて全国的に設立されました。

終戦直後の食糧難の時代において、JA及びその前身である農業会は、食料の集荷・配給を通じて国民への食料供給を確保するという危機管理において重要な役割を担いました。現代においても、JAは食料自給率向上への貢献が期待されており、JAグループは備蓄拡大による国民の食料基盤強化を主張しています。政府の食料統制下での流通を担った歴史的経緯は、JAと農政当局との継続的で密接な関係を形成していますし、今日の食料安全保障に関するJAの言説は政策提言活動にも影響を与えています。

- ※10 農業の改良発達と農業関係者の福利増進を図ることを目的とした農業団体。昭和18年、戦時の農業団体統合によって農業会の組織へと発展解消した。
- ※11 第2次世界大戦中の1943年に発足した農業統制機関。戦時体制下で、それまでの農会や産業組合などの農業団体を統合し、国策に沿った農業指導や農業の整備発展と会員の農業・経済発展に必要な事業を行っていた。



2025年は、国連が定めている「国際協同組合年(IYC2025)」です。
協同組合の歴史、いかがでしたか?次回は協同組合原則についてです。
お楽しみに。

今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ



射手座【全体運】やりたいことに向かって一直線に進めば大きな成果が。こぼれ落ちるものには縁がないと割り切りましょう
11/23 【健康運】旬の食材は元気の源。野菜と魚を多めに
12/21 【幸運の食べ物】クワイ



山羊座【全体運】上昇運です。忙しいですが努力に結果が付いてきます。いいかげんなことはせず誠意を見せて。年末の休暇は多めに
12/22 【健康運】あったか靴下や手袋を愛用して。つば押しも◎
1/19 【幸運の食べ物】コボウ

家族で楽しむおいしい一皿

レシピ提供 ●料理研究家 和田麻紀子



冬に食べたい根菜料理

特別な日やおもてなしにも



サトイモと鶏肉の みそグラタン

材料 (2人分)

・サトイモ……………4個
・鶏もも肉……………1枚
・タマネギ……………1/2個
・バター……………15g
・牛乳……………150ml
・水……………250ml
・小麦粉……………大さじ2
・塩……………小さじ1/2
・こしょう……………少々
・みそ……………大さじ1
・とろけるチーズ……………70g

ポイント

サトイモはとろみが強く焦げ付きやすいです。作り方②の途中で一度混ぜると焦げ付きにくくなります。

アレンジ

- ご飯の上のにせてドリアに
- 牛乳を豆乳に変えてより軽い味に

作り方

- ①鶏肉を一口大に切り、塩・こしょう、小麦粉をもみ込んでおく。タマネギは5mmの薄切り、サトイモは皮をむいて1cmの厚さに切っておく。
 - ②鍋にバターを入れ、鶏肉とタマネギ、サトイモを入れて炒める。鶏肉の色が変わったら水を加えてひたひたにし、ふたをして中火で10分蒸し煮にする。サトイモに香が通らなければさらに数分加熱する。
 - ③牛乳とみそを加えて、軽くサトイモをつぶすようにしてさらに5分煮る。
- 好みのとろみになるまで火を入れたらグラタン皿に移し、チーズをかけて200度のオーブンで10分焼く。焦げ目が付いたら出来上がり。



サツマイモと レンコンのピクルス

材料 (4人分)

・サツマイモ……………1本
・レンコン……………1本
(野菜は合計250gくらい)
・酢……………100ml
・水……………200ml
・砂糖……………50g
・ローリエ……………1枚
・黒こしょう(粒)……………5粒
・唐辛子……………1/4本

ポイント

野菜が多くピクルス液に漬からないときは、ラップをかけて落としぶたのようにしてください。

アレンジ

- レンコンをニンジン・ダイコン・カブなどに替える(いずれも生のまま漬ける)
- ミョウガやシナモンなどを入れる

作り方

- ①ピクルス液の材料を鍋に入れて火にかけ砂糖を溶かし、粗熱を取っておく。
- ②サツマイモは皮ごと5mm幅の輪切りに(太ければいちよう切り)、レンコンは皮をむいて5mmのいちよう切りにして軽く水にさらして水を切っておく。別の小鍋に水600ml(分量外)と塩大さじ①(材料外)を入れて沸かし、レンコンとサツマイモを一緒に入れて2分、ずっと香が通るまでゆで、水にあげる。
- ③②の水分をよく切って清潔な保存瓶に入れ、ピクルス液を注ぎしっかりと液に漬かるように保存する。30分すれば漬漬けになり食べられる。2週間ほどで食べ切る。

～人権週間をご存知ですか?～

12月4日から10日は「人権週間」です。これの機会に、私たち一人ひとりが「人権」について考えるきっかけとなる童話をご紹介します。

「だから わるい」

オセーエワ作 西郷竹彦 訳

一匹の 犬が、からだを まえにかがめて、 はげしく ほえたてています。
そのすぐ はなさきに、垣根にぴたり と からだをよせて、
一匹の 小ネコ が、毛を さかだてて ふるえています。
かーっと 口をあけ、ニャーオ、ニャーオと ないています。
すぐそばに、ふたりの男の子がたって、どうなることかと みていました。
まどから、それをのぞいていた女の人が とぶようにして、
かいだんから かけおてきました。
女の人、犬をおっばらうと、男の子たちを しかりつけました。
「あんたたち、はずかしいの!」
「どうしてはずかしいの? ほくたち なにもしていないよ!」
男の子たちは、びっくりしたように、いいました。
「だから わるいのですよ!」
女の人、まっかにおこって いいました。



女の人なぜ怒ったのでしょうか?何もせず見ているだけでは、子猫をいじめている犬を許していることになり、子猫をいじめていることと同じ行為になるからです。

今回ご紹介した童話は、短いながらも深い問いを投げかけてくれます。人権とはすべての人が尊重される権利です。人権週間をきっかけに、私たちの態度を見直してみませんか?

人事異動のお知らせ

11月1日付で人事異動が発令されました。異動職員は次のとおりです。

氏 名	発 令 事 項	旧 任
安部 慶太	総務部管理課 会館管理係兼特産係	総務部管理課 会館管理係
田中 宰	営農経済部 農産課 カントリーエレベーター調査役	営農経済部 特産課 課長代理
吉原 克哉	営農経済部 農機燃料課 農機・車輛・家電センター 農機具整備係	営農経済部 農産課 カントリーエレベーター
野田 佳志	営農経済部 農機燃料課 農機・車輛・家電センター 車輛整備係	営農経済部 農機燃料課 農機・車輛・家電センター 農機具整備係

今月のあなたの運勢 12月 モナ・カサンドラ



水瓶座【全体運】周囲からの手助けに感謝を。1人で動かない方が順調に進みます。
1/20 大きな計画変更はもう少し時間をかけて◎
2/18 【健康運】スポーツがストレス発散に。爪のケアを
【幸運の食べ物】ニンジン



魚座【全体運】試験が山のようにそびえていますが、乗り越えれば開運へ。気を抜かず
2/19 進みましょう。他人の助言はよく検討して
【健康運】無理をしないで。サポーターやテーピングは味方
3/20 【幸運の食べ物】レンコン

年末年始の営業について

月／日	本 所	ATM			犬塚購買店・ 資材集約センター	農機具・家電・ 車輛センター	西牟田給油所	カントリー エレベーター	冷蔵庫・集荷場	
	平日 貯金窓口 8:45～15:00 営業窓口 8:30～17:00	JAみづま (本所・犬塚購買店)	セブン銀行	ローソン銀行	イーネット (ファミリーマート等)	平日 8:30～18:00 土曜 8:30～17:00	平日 8:30～17:00	平日・土曜 7:30～19:00	平日 8:30～17:00	平日・土曜・日曜 8:00～18:00
	土曜日 8:30～12:00	平日 8:45～18:00 土曜 9:00～12:00	平日・土・日 8:00～21:00							
12/29(月)	通常営業 正月用品特売会	通常営業	通常営業							
12/30(火)	通常営業									
12/31(水)		9:00～12:00	通常営業							
1/1(木)										
1/2(金)	休	休								
1/3(土)										
1/4(日)										
			通常営業							

●1/5(月)より通常営業します

●12/29(月)の正月用品特売会は『本所 駐車場』で行います

●セブン銀行、ローソン銀行、イーネットATMご利用について

・JAバンク福岡のキャッシュカードをお持ちのお客様は、お近くのセブンイレブンやローソン等に設置のATMで『お預け入れ』『お引出し』『残高照会』のサービスがご利用いただけます

※セブン銀行のキャッシュカードで、JAバンクのATMを利用することはできません

●ATMご利用手数料は下表をご参照ください(本所と犬塚購買店ATMは手数料無料)

	時間帯	手数料
平 日	8:45~18:00	110円
8:00~21:00	上記以外の時間帯	220円

	時間帯	手数料
土曜日	9:00~14:00	110円
8:00~21:00	上記以外の時間帯	220円

	時間帯	手数料
日・祝日	8:00~21:00	220円
8:00~21:00		

●緊急連絡先

JAガス担当者(LPガス)	ガスが止まった等	☎090-4999-4669	平日 8:30~17:00
JA-LPガス情報センター	ガス機器の故障等	☎0120-182-571	平日 17:00~8:30 土日祝 24 時間受付
JA共済事故受付センター		☎0120-258-931	24時間受付、365日
NICOS盗難紛失受付センター	クレジットカード	☎0120-159-674	24時間受付、365日
JAバンク盗難・紛失受付ダイヤル	クレカ以外のカード、通帳、証書、印鑑等	☎0120-646-106	土日祝 24 時間受付

パズル? 頭の体操

Q 二重マスの文字を A~E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?



11月号の答え

1	セ	イ	チ	ヨ	ウ	キ
2	ト	ン	マ	ツ	カ	
3	ユ	ウ	モ	ウ	ゲ	ン
4	リ	ク	ザ	リ	シ	
5	カ	ゴ	キ	ツ	シ	ヤ
6	モ	ミ	ジ	ト	キ	
7	メ	キ	コ	ウ	ブ	ン

解答 A B C D E
ブンカサイ

→ ヨコのカギ

- 1 サンタクロースが乗るソリを引きます
- 2 練り物や大根などを煮込みます
- 3 ごはんのこと。握り——
- 5 和服の袖の下、袋状の部分
- 6 ——を憎んで人を憎まず
- 8 南米の北端にある国。首都はボゴタ
- 12 漢字では独活と書く山菜
- 13 木を切り倒すときに使います
- 14 dBと表記される、音などの強さを示す単位
- 15 暮れのあいさつとして贈ります
- 16 人間は二足——をする生き物です
- 17 疲れたときには出して、おいしいときには落ちるもの
- 19 泣き顔になること。——をかく

↓ タテのカギ

- 1 夜目——笠の内
- 4 足を中に入れて暖を取ります
- 7 サッカー日本女子代表の愛称に使われている花
- 9 クリスマスツリーに使われる木
- 10 日本酒を温めること
- 11 じょうごとも呼ばれる道具
- 13 忘年会で乾杯の——を取った
- 15 高いところに載せたものを取るときの姿勢
- 16 クリスマスツリーのでっぺんにも飾ります
- 17 青い染め物に使われる植物
- 18 物ごとの順序などがさかさまになっていること
- 20 ささがきにすることも多い根菜
- 21 韓国の首都

出題●ニコリ

編集後記

「気づけば500号。えっ、もうそんなに!？」
 そんな声が聞こえてきそうですが、はい、本当です。JAだより「みづま」、ついに500号です!
 創刊時はなんと今の犬塚購買店の場所に本所があった時代。今回の記念号では、ちょっとだけ真面目にこれまでの歩みを振り返ってみました。
 「懐かしい!」と思って下さる方も、「そんな時代あったの!」と驚く方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、どの時代にも共通しているのは、「人の温かさ」です。取材先でいただく笑顔や皆さんの「読んでいますよ!」の一言が編集担当の原動力です。
 500号。これは、地域の皆さんと一緒に歩んできた証です。
 笑って、泣いて、時々ツッコミを入れながら、これから「ちょっと面白くて、ちょっと役立つ」広報誌を目指していきます。どうか引き続きお付き合いください。(SA.)

みづま
公式ホームページ